THINK POSITIVE
Listen to the Music

THINK POSITIVE めぐろ ルン² LIVE MEGURO RUNRUN LIVE

このライブを主催いただいた目黒区ユネスコ協会の皆様に御礼申し上げます。皆様によって、ユネスコ精神に基づいた様々な活動が、継続的、活発に行われていることに敬意を表します。
また、この場をお借りして新型コロナウイルス感染防止に取組んでおられるお一人お一人に、そして、私たちの暮らしを支えるお仕事をされてきた皆さんに御礼申し上げます。皆を元気にしたいという企画意図どおり、私も皆様と共に音楽を楽しみたいと思います。

目黒区長 青木 英二

世界は今もなお、新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な文化活動が制約を受けています。そういった中で、目黒ユネスコ協会で活動する若い人たちが中心となって目黒区総合庁舎のエントランスホールを演奏会場として『めぐろルンルンライブ』を企画されました。音楽は心を安らかにして希望を与えてくれます。このオンラインコンサートという取組を通して、目黒区の皆さん、そして世界の人々の心が一つとなり、新しい未来へと進む力となっていくことを願っています。

目黒区 教育長 関根 義孝

コロナウイルスで私たちの生活は一変し、私の大学生活はオンラインでのスタートとなりました。誰もが不安な気持ちで過ごしている今、少しでも明るい気持ちになれないかと、そこで思いついたのが「めぐろルンルンライブ」です。音楽は人々を支えてくれるものです。このチャンネルで、みなさまが少しでも勇気付けられるような曲を届けていきたいと考えております。最後に、開催にあたりまして多くの方々にご協力頂きました。この場を借りて改めて御礼申し上げます。

ルンルンライブ実行委員長 石井 喜大

目黒ユネスコ協会ではユネスコ精神のもと毎年チャリティーコンサートを開催しています。今年は昨秋焼失した沖縄首里城の再築のために開催する予定でしたが、コロナ禍のため中止せざるを得ませんでした。そこで無観客のライブを催すことになり、コロナウイルスに立ち向かっている医療機関・医療従事者に基金を設け応援することとなりました。アーティストの方々にはこの主旨に賛同を頂きました。人生は多難で一寸先は闇。何が起こるかわかりません。ステイ・ポジティブ！

目黒ユネスコ協会会長 宮下 晶子

当たり前だったことが当たり前でなくなってしまいました。
生活や世の中が変わっても前を向いて歩いていきましょう。
力が湧いてくる演奏をピアニストたちが届けてくれました。

目黒ユネスコチャリティー基金
MEGURO UNESCO CHARITY FUND

『めぐろルンルンライブ』はチャリティーイベントとして目黒ユネスコ協会が基金を募ります。そして目黒区を通じ医療の最前線で新型コロナウイルス感染症に立ち向かう医師や看護師など、自らの感染リスクの大きなプレッシャーの中で大切な命を救うために献身的に頑張っている医療従事者の方々への支援と医療体制の強化に活かされます。

詳しくは **www.runrun.live**

チャンネル視聴はコチラ

めぐろ ルン² LIVE

NPO法人 目黒ユネスコ協会　目黒区 Meguro City　目黒区教育委員会　KAWAI

【主催】NPO法人目黒ユネスコ協会　【後援】目黒区／目黒区教育委員会　【協賛】河合楽器
【協力】U-come ／くるりんぱくらぶ／ LAPIS.DESIGN ／目黒区国際交流協会／日本ユネスコ協会連盟

前向きな気持ちになる音楽チャンネル『めぐろルンルンライブ』

コロナウイルスの影響によって私たちの生活は一変しました。家族や友人を亡くした人がいます。職を失った人もいます。お店や会社を閉めたところもあります。人間が築いてきた社会や経済はそんなにも脆くて壊れ易かったのです。コロナだけでは有りません。豪雨による洪水、地震・台風と被災を受け失意の底にある者、経済的不安を抱えている人は少なくありません。心にぽっかり穴があいたとき、暗澹たる思いであるとき、たまたま耳に入った音楽がぱっと明るく自分の気持をポジティブな方向に向かわせたことはありませんか？目黒区は芸術と文化の街を掲げています。音楽のパワーによってネガティブな人が前向きな気持ちになれないかと目黒区役所のエントランスホールに河合楽器さんの協力のもと、ピアノが設置されました。そしてピアニストたちが集まり『めぐろルンルンライブ』を催しました。彼らのポジティブになれる演奏が多くの人に伝播したらと思います。

※チャンネル視聴は表紙の QR コードを読み取るか、ウェブサイト（www.runrun.live）からのリンク。または YouTube で「めぐろルンルン LIVE」を検索をして下さい！

Artist---Interview / Profile

インタビューのフルバージョンはウェブサイトで www.runrun.live

よみぃ YOMII

【今のよみぃさんにとってピアノとはどういう存在ですか？】 言葉の一種みたいな感じですね。言葉で感情を伝えることもできるのですけど、音でそれを、感情を伝えるみたいなものの一種になっているかなと思います。

【ファンの方々のお便りや、メッセージで嬉しかったメッセージがありましたら教えて下さい！】 手紙とか嬉しいですね。SNS でのメッセージとかも嬉しいんですけど、やっぱり、こう、実際に書いてくれた手紙とかは嬉しいですね！あと食べ物とかは嬉しかったり、コーヒーショップのカードとかはもらって嬉しかったのですね。

【PROFILE】YouTuber・ピアニスト・作曲家。チャンネル登録者 100 万人超。街中で突然ピアノを弾きまくる動画が大人気。15 歳で初めて作曲した曲「D's Advneutre Note」が "太鼓の達人 全国大会課題曲公募 2013" にて採用され作曲家としての活動を始める。主な出演・活動歴 YAMAHA の最新技術　人工知能合奏システムの実演奏者に選任され、DC EXPO2017 にて「千本桜」「RAIN」などの有名楽曲で AI との合奏を披露。AI から人間味を引き出そうとする個性的なプレイに、海外からの VIP 達も多くの賛辞を送った。

朝香 智子 TOMOKO ASAKA

【ユーチューブで公開するきっかけは？】 言葉の壁がないピアノの音楽は、世界中の人に聴いてもらえると思って動画の投稿を始めました。

【ストリートピアノについて】 ピアノって大きいじゃないですか。移動するのは無理ですよね。ピアニストにとっても自由に外で演奏できる場所ができたっていうのがやっぱり新鮮で、喜びを見出したというか、ピアノが身近になったんじゃなかいかなと思いますね。

【コラボについて】 ピアノを演奏するって独りで完結するものですけど、そこに誰かが加わることで、私の持っている可能性全てと、もう一人加わってくれたその人の全てが掛け算のようになっていって、一気に世界が広がるのが魅力だと思うんですよね。私の色も出しつつ、他の参加してくれる方の色と解けあう感じ、融合していく感じっていうのがやっぱり楽しいんですよね。

【PROFILE】大阪生まれ大阪育ち、湘南在住のコンポーザーピアニスト。ピアノ YouTuber「あさぴ」としても活動を展開中。音楽ゲームアプリの「DEEMO ピアノコレクション」のメインアクト。2020 年 5 月 27 日に「ピアニスタ・イン・トーキョー」をリリース。

高木 里代子 RIYOKO TAKAGI

【コスプレの動画をあげられてますが、そのきっかけは？】 元々ハロウィンの時に色んな衣装を着てジャズライブをやったりしてたのですけど、YouTube だと、なんだろう、やっぱり視覚情報が多いから、ただ弾くよりもいいかな、と思ったのと、アニソンはファン層の方が多いので、ついでにコスプレもしようと、、、

【得意なものは？】 即興演奏ですかね。例えばなにかその場で人にメロディをもらって、ピアノ弾いてもらって、一曲その場で曲を作るということをよくライブでやるんですけれど、それは負けない自信があります。

【動画の収録について】 演奏する前に１０分ぐらいアレンジの練習してぱっと撮っちゃうんですよ。ただ動画の編集が大変難しいというか、音は別で撮っているので結構時間が掛かっています。

【PROFILE】４歳からピアノを始め、慶應大学在学中から演奏活動を開始。ジャズをベースにジャンルにとらわれないサウンド感とインプロヴィゼーションで注目される。2016 年エイベックスよりメジャーデビューアルバム「THE DEBUT!」をリリース。テレビ、雑誌等メディアにも多数出演。

上長根 明子 AKIKO KAMINAGANE

【活動について】 独りでピアノを弾くより、いろんなアーティストと演奏することが多いです。

【ジャズピアノのきっかけは？】 ビル・エバンスの CD を聴いてカッコいいなと思ってそれからはじめました。

【即興について】 楽しいことが多いですね。自分で想定していたことと違うものが出てくることがありますし、自由にできるということはやり易くて、インスピレーションがでてくるようになりました。

【演奏について】 愛を感じられる音楽を聴いていて好きなんです。作り手や演奏者の愛を感じるものがあるのですが、心がけていることは愛を込めて弾きたいと思っています。

【PROFILE】東京ミュージックアンドメディアアーツ尚美 卒業後、ジャズピアノへ転向。国立音楽院に入学。自身のジャズピアノトリオ「Akiko Kaminagane Trio」や、鍵盤ハーモニカのみを使用する「鍵ハモしか弾きませんの DAY」などの企画ライブの他、ジャンルを問わず様々な編成での演奏活動を行う。2019 年デビューアルバム Akiko Kaminagane Trio『Pleasant Time』をティートックレコーズより全国リリース。「上質なセンチメントと爽快感溢れるピアノトリオ」と高い評価を得ている。

高嶋 英輔 EISUKE TAKASHIMA

【作曲や編曲で心掛けていることは？】 常に五線紙を持っていて、なんか思い出せばそれこそお風呂入っているときでもあの、書けるように、それは心がけていますね。

【バイオリンとはどういった存在でしょうか？】 バイオリンは、そうですね、自分が体調とか調子が悪いときはうまくなってくれなかったりとか、逆にその、自分を支えてくれるというか、引っ張ってくれることもあったりして、まぁその色んな、弾くたびに色んな発見があるので、もうほんと宝物というか、宝探しをしながら、バイオリン自体も宝物だと思っていますけど、そういうありがたい時間ですね、一緒に演奏させてもらってる時間は。

【PROFILE】ヴァイオリニスト・作曲家・編曲家・Style-3! メンバー。またソロ活動もしている。2004 年コントラバスの長澤伴彦とともにポップインストユニット style-3!(スタイルスリー) を結成。クラシックからロックまであらゆるジャンルをとりいれた個性的なオリジナル楽曲と躍動感あるステージで注目を集めている。これまでに制作したオリジナル楽曲は約２００曲、年間ライブ稼働日数は 160 日を数える。

伊藤 志宏 SHIKO ITO

【ジャズピアノの魅力とは】 うーんとね、ジャズピアノであるかどうかということは実は大事じゃなくて、自分が一番、こう、あ！水が合うな！と思ったフォーマットがジャズだったと。これがクラシックでもよかったんですけど、ただ、ものすごい細分化されていて、いま、音楽が。それでジャズというとだいぶ広範囲なかんじですね。だから、何にでも応用できるし、その、やりたいことを具現化するにはとても適した音楽かなと思いますね。

【作曲にかかる時間は？】 それはもう 5 分の時もあれば、2 週間の時もあれば、ケースバイケース。僕は手書きなので、そう、今はもう、パソコンで出せるんですよ。

【PROFILE】東京出身 乙女座 A 型。慶応義塾大学入学後セロニアスモンクのソロピアノの CD を聞いて独学でジャズを始める。23 歳くらいからいつの間にかライブを始めるようになりプロ活動を開始。にドラム、ベースのいない変則形態における演奏には定評がある今現在、ソロピアノ、トリオシンクレティア、3 cello varistion、audace、など多様な編成での独自の活動を模索中。また沢山の歌手から伴奏者、アレンジャーとして信頼を寄せられ演奏以外に映画音楽の作曲なども手がけている。